

令和4年度磯子地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・介護サービス導入時は、介護サービス事業者ガイドブック等を提示し、サービス事業者の特徴や金額等を説明し、利用する方、及びご家族の意向を聞きながら調整をしていく。	・個人情報については契約時に説明、同意、交付を行い、実習生等の同行訪問時は、そのつど同意を得る。 ・日常的に書類の保管、職員間の対話等にも注意を行い、個人情報の管理を徹底する。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	・自立支援型の介護予防マネジメントを実施する。 ・インフォーマルサービスの活用を推進する。 ・地域の役員会等に出席し介護予防の説明をし理解を得る。	・困難ケースやターミナルのケースなども積極的に受け入れ、在宅介護を支援し地域に貢献する。 ・研修等に参加し、相談援助職としての知識と技術を向上させる。
利用料金・実費負担	なし	なし
職員体制	・常勤職員4名(社会福祉士2名、主任ケアマネ1名、保健師等1名) ・非常勤職員3名	・常勤3名(管理者兼主任ケアマネ1名、主任ケアマネ1名、介護支援専門員1名) ・非常勤職員2名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	「在宅生活を継続できるための自立支援」 ・今できていることを継続してできるよう、介助をし過ぎず、お客様に合わせた介助を行います。 ・個別機能訓練を行い、重介護状態の予防を行います。 ・回想法やクラブ活動を通して認知症の予防に努めます。	「在宅生活を継続できるための自立支援」 ・今できていることを継続してできるよう、介助をし過ぎず、お客様に合わせた介助を行います。 ・個別機能訓練を行い、重介護状態の予防を行います。 ・回想法やクラブ活動を通して認知症の予防に努めます。	「在宅生活を継続できるための自立支援」 ・今できていることを継続してできるよう、介助をし過ぎず、お客様に合わせた介助を行います。 ・個別機能訓練を行い、重介護状態の予防を行います。 ・回想法やクラブ活動を通して認知症の予防に努めます。
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 40人	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	(通所介護)1割負担の場合 要介護1:703円 要介護2:829円 要介護3:961円 要介護4:1,092円 要介護5:1,225円 サービス提供体制強化加算(Ⅱ):20円 中重度者ケア体制加算:49円 入浴介助加算:43円 個別機能訓練加算(Ⅰ)イ:60円 科学的介護推進体制加算:43円 介護職員処遇改善加算(Ⅰ):1ヶ月のご利用単位数の59/1000相当 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ):1ヶ月のご利用単位数の10/1000相当 食費 750円 (介護予防)1割負担の場合 事業対象者、要支援1(週1回程度)、要支援2(週1回程度):1,793円 サービス提供体制強化加算(Ⅲ):26円 事業対象者、要支援2(週2回程度):3,675円 サービス提供体制強化加算(Ⅲ):52円 運動器機能向上加算:242円 科学的介護推進体制加算:43円 介護職員処遇改善加算(Ⅰ):1ヶ月のご利用単位数の59/1000相当 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ):1ヶ月のご利用単位数の10/1000相当 食費 750円	(認知症対応型通所介護)1割負担の場合 要介護1:1,080円 要介護2:1,197円 要介護3:1,315円 要介護4:1,432円 要介護5:1,550円 サービス提供体制強化加算(Ⅰ):24円 入浴介助加算:44円 個別機能訓練加算(Ⅰ):30円 科学的介護推進体制加算:44円 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月のご利用単位数の104/1000相当 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)1ヶ月のご利用単位数の31/1000相当 食費 750円	
職員体制	管理者:1名 生活相談員:4名 介護職員:23名 看護職員:6名 機能訓練指導員:3名 調理員:4名 運転手:6名	管理者:1名 生活相談員:4名 介護職員:23名 看護職員:6名 機能訓練指導員:3名 調理員:4名 運転手:6名	
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市磯子地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,649,000		16,649,000		16,649,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	365,760	0	365,760	0	365,760	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	13,560		13,560		13,560	
その他	352,200		352,200		352,200	
その他			0		0	
収入合計	17,014,760	0	17,014,760	0	17,014,760	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,819,292	0	9,819,292	0	9,819,292	職員、非常勤分
本俸	6,887,154		6,887,154		6,887,154	社会保険、労働保険
社会保険料	875,278		875,278		875,278	諸手当、通勤費
手当計	880,162		880,162		880,162	
健康診断費	67,850		67,850		67,850	ハマふれんど
勤労者福祉共済掛金	6,500		6,500		6,500	
退職給付引当金繰入額	166,998		166,998		166,998	賞与
その他	935,350		935,350		935,350	
事務費	1,550,052	0	1,550,052	0	1,550,052	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	23,148		23,148		23,148	
会議随費	0		0		0	
印刷製本費	213,943		213,943		213,943	
通信費	261,570		261,570		261,570	郵便、運送、電話、通信他
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	45,662		45,662		45,662	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	321,270		321,270		321,270	マット、パソコン、空気清浄機
手数料	2,315		2,315		2,315	
地域協力費	0		0		0	
その他	652,144		652,144		652,144	保健衛生費、教養娯楽費、広報費、諸会費、産業医、システム管理費、廃棄物処理費、給与委託費等
事業費	1,430,000	0	1,430,000	0	1,430,000	
運営協議会経費	31,890		31,890		31,890	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000		300,000	
その他	1,098,110		1,098,110		1,098,110	講師謝金
管理費	6,300,984	0	6,300,984	0	6,300,984	
光熱水費	2,793,216		2,793,216		2,793,216	
清掃費	2,174,766		2,174,766		2,174,766	
機械警備費	163,091		163,091		163,091	
設備保全費	746,968	0	746,968	0	746,968	
空調衛生設備保守	328,680		328,680		328,680	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	85,226		85,226		85,226	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	333,062		333,062		333,062	
共益費	167,626		167,626		167,626	植栽管理
その他	255,317		255,317		255,317	エレベーター、自動ドア
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,166,829	0	1,166,829	0	1,166,829	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,166,829		1,166,829		1,166,829	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	指定管理料、施設利用料、事業費予算計上差額分
支出合計	20,741,157	0	20,741,157	0	20,741,157	
差引	△ 3,726,397	0	△ 3,726,397	0	△ 3,726,397	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	0	300,000	
自主事業 収支	△ 300,000	0	△ 300,000	0	△ 300,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	13,560	0	13,560	0	13,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	13,560	0	13,560	0	13,560	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市磯子地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,493,000		29,493,000		29,493,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	42,000		42,000		42,000	
雑入	21,560	0	21,560	0	21,560	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	13,560		13,560		13,560	
その他	8,000		8,000		8,000	受入研修費
その他			0		0	
収入合計	35,512,560	0	35,512,560	0	35,512,560	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,592,445	0	32,592,445	0	32,592,445	
本俸	19,223,340		19,223,340		19,223,340	職員、非常勤分
社会保険料	3,606,378		3,606,378		3,606,378	社会保険、労働保険
手当計	3,506,013		3,506,013		3,506,013	諸手当、通勤費
健康診断費	96,666		96,666		96,666	
勤労者福祉共済掛金	31,500		31,500		31,500	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	834,498		834,498		834,498	
その他	5,294,050		5,294,050		5,294,050	賞与
事務費	1,726,063	0	1,726,063	0	1,726,063	
旅費	23,000		23,000		23,000	
消耗品費	163,083		163,083		163,083	
会議滞在費	0		0		0	
印刷製本費	141,713		141,713		141,713	
通信費	512,828		512,828		512,828	郵便、運送、電話、通信他
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	30,000		30,000		30,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	30,982		30,982		30,982	
職員等研修費	40,000		40,000		40,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	332,511		332,511		332,511	マット、パソコン、空気清浄機
手数料	1,537		1,537		1,537	
地域協力費	0		0		0	
その他	450,409		450,409		450,409	保健衛生費、教養娯楽費、広報費、諸会費、産業医、システム管理費、廃棄物処理費、給与委託費等
事業費	1,088,000	0	1,088,000	0	1,088,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	15,000		15,000		15,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	353,280		353,280		353,280	予算：指定額
その他	89,720		89,720		89,720	講師謝金
管理費	1,696,885	0	1,696,885	0	1,696,885	
光熱水費	742,490		742,490		742,490	
清掃費	576,444		576,444		576,444	
機械整備費	43,228		43,228		43,228	
設備保全費	109,710	0	109,710	0	109,710	
空調衛生設備保守	87,120		87,120		87,120	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	22,590		22,590		22,590	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	44,431		44,431		44,431	植栽管理
その他	180,582		180,582		180,582	エレベータ、自動ドア
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	1,800	0	1,800	0	1,800	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,800		1,800		1,800	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他			0		0	指定管理料、事業費予算計上差額分
支出合計	37,231,193	0	37,231,193	0	37,231,193	
差引	△ 1,718,633	0	△ 1,718,633	0	△ 1,718,633	

自主事業費 収入	42,000	0	42,000	0	42,000	
自主事業費 支出	368,280	0	368,280	0	368,280	
自主事業 収支	△ 326,280	0	△ 326,280	0	△ 326,280	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	13,560	0	13,560	0	13,560	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	13,560	0	13,560	0	13,560	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

横浜市磯子地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入				8,599		8,599	29,429		29,429	85,041		85,041	3,120		3,120
	その他	0	0	0	6,430	0	6,430	981	0	981	17,095	0	17,095	347	0	347
	事業・負担金収入			0	6,430		6,430	0		0	9,965		9,965	347		347
				0	0		0	210		210	0		0	0		0
				0	0		0	771		771	0		0	0		0
				0	0		0	0		0	6,836		6,836	0		0
				0	0		0	0		0	294		294	0		0
				0	0		0	0		0	0		0	0		0
				0	0		0	0		0	0		0	0		0
		収入合計(A)	0	0	0	15,029	0	15,029	30,410	0	30,410	102,136	0	102,136	3,467	0
支出	人件費			0	5,265		5,265	27,244		27,244	84,259		84,259	0		0
	事務費			0	7,391		7,391	1,350		1,350	5,241		5,241	0		0
	事業費			0	246		246	560		560	9,033		9,033	0		0
	管理費			0	0		0	0		0	7,005		7,005	0		0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	294	0	294	0	0	0
	利用者負担軽減額			0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税			0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料			0	0		0	0		0	0		0	0		0
				0	0		0	0		0	0		0	0		0
				0	0		0	0		0	0		0	0		0
	支出合計(B)	0	0	0	12,902	0	12,902	29,154	0	29,154	105,832	0	105,832	0	0	0
	収支 (A) - (B)	0	0	0	2,127	0	2,127	1,256	0	1,256	-3,696	0	-3,696	3,467	0	3,467

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	磯子college	令和4年度	5：共催(1と3)	1：優先的に取り組み	普段CPIに興味がない方にもCPIに来てもらえるような企画を行い、地域の方たちにCPをより身近に感じてもらい、参加者同士の交流を深めてもらったり、地域福祉活動への参加のきっかけにもらう	5：地域		幅広い層にCPに関心を持ってもらえるように、企画毎に内容や回数、対象者を変えて行う		
2	ビューリー体操	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	染色体異常児・ダウン症児とその保護者、兄弟児を対象とした体操教室。体力づくりとストレス解消を目的とする。	2：障害児・者		染色体異常児・ダウン症児とその保護者、兄弟児を対象にストレッチを中心とした体操を行う。子供達が飽きない様に、遊びを交えて実施。年齢別2クラス制 毎月1回		
3	ポッチャクラブ	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	磯子区内の中途障害者が気軽に参加できる場所の提供。外出のきっかけ作り。地域ボランティアとの協働で関係を深める。当事者主体で実施、参加者同士の交流を深める。	2：障害児・者		ポッチャゲーム 月2回		
4	リハビリ教室	平成22年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	脳卒中になり、退院後間もない方や、家に閉じこもりがちなる方を対象に、日常生活の自立や社会参加のきっかけとしていただけるように開催する。	2：障害児・者		言語リハビリ、生活習慣病予防、体操、口腔ケア、スポーツ、ポッチャ、話し合い、リラクゼーション、語らう会、振り返りのプログラムを、年間予定により、毎週いずれかを行う。 週1回		
5	みどりのサポーター	平成20年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	平成20年度に開催した「みどりのサポーター養成講座」受講者の支援事業。サポーターが学んだ知識、技術を地域に還元し、また参加者がいきがいを感じて活動ができるようにコーディネートする。	5：地域		地域の緑化活動へのボランティアコーディネート。磯子地域ケアプラザの花壇、畑の整備。ケアプラザの他事業へボランティアとして参加。 月2回		
6	わいわい広場	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	育児中の親の交流の場を提供し、子育て中の親たちの仲間づくりのサポートを行う。子育て情報の提供を行う。イベントを通じて、親子で遊べる場をコーディネートする。	3：養育者及び乳幼児		親子で遊べる広場。月2回実施。自由遊び、パネルシアター、紙芝居、絵本の読み聞かせ、じゃがいも掘り、バルーン遊び、粘土遊びなど 月2回		
7	親子ヨガ	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・未就園児(特に2～3歳児)とその親を対象とし、ヨガを通して人との関わり、コミュニケーションのとり方を知り、心と体の土台をつくるサポート。 ・子どもと親のふれあう機会をつくる。 ・定期的に体を動かすことで体力作りにつなげていく。	3：養育者及び乳幼児		講師を中心に音楽に合わせて身体を動かす。体操だけでなく、挨拶や集団での礼儀などもプログラムに盛り込み、集団生活で過ごす練習も行う。平成28年度より講師が交代した。コロナ禍の対応としてオンラインでの開催を行う 月2回		
8	ミニギャラリー	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザが地域の方々に身近な施設であるために、展示スペースを開放し、気軽に利用していただく。作品を展示し、地域の方々の目に触れることで、展示者は生きがいを持ち活動が活発になるようコーディネートする。	5：地域		地域の方の作品の展示、整備。 随時		
9	ふれあいサロン	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	磯子区福祉保健計画のスイッチON磯子磯子地区の取り組みの一部として開催。磯子地区高齢者の社会交流の場の提供。	1：高齢者	5：地域	民生委員を中心に講師のもとでの体操や、落語、クリスマス会を開催する。体操は、講師の指導のもと、基本的なものを取り入れている。 月1回		
10	広報誌コスモス	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザの活動を地域に多く知っていただく。 事業の参加者を増やす。	5：地域		地域の情報、自主事業の様子の情報提供。募集中の事業の紹介。地域福祉保健計画のPR。1500部を印刷し、連合町内会経由で地域に配布、また、近隣施設、区内全CPに配布。 年4回		
11	男のかんたん一品料理	平成25年度	5：共催(1と3)	2：発展させるねらい	男性高齢者が地域デビューができるきっかけづくり。地域での顔の見える関係作り。地域ボランティア講師の活躍の場の提供。	1：高齢者	5：地域	普段調理をしていない、男性高齢者を対象に2回コースで地域の男性料理グループを講師として実施。かんたん一品料理という内容で、初心者を対象としたレシピとしている。作った料理で会食しながら、地域活動などの紹介を行う。 年2クール		
12	シニアクッキング	平成29年度	5：共催(1と3)	1：優先的に取り組み	男性高齢者が地域デビューができるきっかけづくり。地域ボランティア講師の活躍の場の提供。	1：高齢者	5：地域	H28年度に開催した『男のかんたん一品料理』参加者の有志でグループを作り、今年度の男性の料理教室として、5回シリーズで事業を行う。 年4～5回		
13	いそご美声会	平成28年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	利用者アンケートで、毎年要望の出ている「歌」の事業を開始。 地域の方の交流や、外出の機会を増やす。	5：地域		歌詞が表示されるDVDを上映し、スクリーンを見ながら全員で歌う。16～18曲を歌う。当面2部制とし、定員を減らして実施する。月1回		
14	折り紙サロン山折り・谷折り	平成28年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域の方の集える場を設け、仲間作りや、外出の機会を増やす。 アンケートにより、要望の多かった折り紙の事業を実施する。 参加者の中からボランティアを発掘する。	5：地域		定員を減らすため2部制実施 季節にちなんだものを折る。 月1回		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	プラザdeごはん	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	孤食や貧困により、食事内容が低下している小学生や中学生を主な対象とし、温かい手作りの食事を提供する。地域のボランティアとの触れ合いを通じ、気軽に立ちよれる居場所作りをする。	4:子ども・青少年	5:地域	月に2回、17時から。小中高校生は無料、大人は300円とし、調理室で調理したものを提供する。食事だけでなく、宿題をしたり、ボランティアと一緒に遊んだりできるスペースも設ける。当面テイクアウトのみの可能性		
16	男性のためのレコード喫茶「メモリーズ」	平成29年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域とのつながりのない男性に対して、地域に出て行くきっかけ作りと、交流の場づくり。	7:その他	5:地域	地域から寄付いただいたレコードプレーヤーと、LPレコードを使って、コーヒーを飲みながら、音楽を聴き、ゆっくりした時間を過ごす。月1回 当面コーヒーの提供はなし。		
17	学習支援型集いの場ばーん	平成31年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	小学校高学年の子どもの放課後の居場所がなく、学習も遅れがち子どもが多いため、居場所を作る。	4:子ども	5:地域	16時～20時まで、おやつや飲み物も提供しながら、宿題や復習の学習支援を行う。スタッフは地域のボランティア数人で、ケアプラザは、後方支援として、場所の提供とチラシ等の作成を担当する。週2回		
18	ドレミ	平成23年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みや冬休み等に、障害児余暇支援を行い、保護者のレスパイトや参加者同士の交流を提供。ボランティアの活動の場の提供。地域へ障害の理解の啓発。共催事業にすることで磯子区全体の障害児事業の発展をねらう。	2:障害児・者		夏:うどん打ち・布おもちゃ遊び・簡単楽器作り、音楽遊び。振り返りを写真スライドで行う。 冬:外出レク。新規参加者とは事前ヒアリングを行う。ボランティアには事前説明会を実施。年2回		
19	ババママ救急隊 幼児安全法	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	未就園児の保護者向けにけがの応急処置方法や病気になったときの対処方法や受診の目安などについて学ぶ。	3:養育者及び乳幼児		日本赤十字社より講師を招き、講座を実施する。個別に質疑応答にも対応。土曜日開催のため、ほとんどが両親参加である。年1回		
20	乳幼児の口腔ケア	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	歯ブラシ嫌いにならないために保護者へ正しい口腔ケア方法を学んでもらう。	3:養育者及び乳幼児		西公園歯科診療所院長 渡辺先生を招き、パワーポイントにて講義。個別面談も行う。年1回		
21	3者合同避難訓練・避難訓練	平成24年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	災害時速やかに避難ができるように訓練を行う。3施設合同で行うことで要支援者の安全を守り、避難の介助ができるようにする。訓練を行うことで、問題、改善点を明らかにし、災害時の被害を最小限にする。	6:事業者	5:地域	磯子センター・磯子区社会福祉協議会・磯子CPの合同訓練。津波を想定し、磯子センター3階まで避難誘導を実施。レスキューシートを使用して階段を上る訓練実施。消防署職員による講演、救急救命訓練。年2回		
22	大人の口腔ケア	平成17年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	口腔ケア方法を歯科医師より学び、介護予防につなげていく。	1:高齢者	5:地域	西公園歯科診療所院長 渡辺先生を招き、スライド、RDテスト、歯周病スクリーニング、ブラッシングについて学ぶ。年1回		
23	Pダンスアカデミー	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ダウン症の会の解散後、メンバーが新しく体を動かすための会を作り、活動も継続を図る。	2:障害児・者	4:子ども	講師を中心に音楽に合わせて身体を動かす。体操だけでなく、挨拶や集団での礼儀などもプログラムに盛り込み、集団生活で過ごす練習も行う。月1回		
24	スマホ講座	平成31年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	高齢者がスマホを購入したが、操作の仕方がわからないという地域の方の声があったため、スマホの操作の仕方を学ぶと共に、地域に出て来るきっかけとなるよう講座を行う。	1:高齢者	5:地域	高齢者がスマホを購入したが、操作の仕方がわからないという地域の方の声があったため、スマホの操作の仕方を学ぶと共に、地域に出て来るきっかけとなるよう講座を行う。年1回		
25	お化粧品講座	令和2年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	高齢者が化粧品を楽しみ、ADL(日常生活動作)の維持・向上につながる化粧品療法を目的とした講座を行う。	1:高齢者	5:地域	化粧品を取り扱う企業の美容講座を利用して、化粧の力で介護予防の効果があることを知ってもらう。年1回		
26	こずもすホルダー登録会	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域見守り事業として、外出先などで緊急搬送された場合に、本人確認や緊急連絡先につなげることができる。	1:高齢者	5:地域	元気だからこそ、もしもの場合に備える必要があることを知ってもらい、自治会町内会に出席して登録会を行う。随時		
27	ガーデニング講座	平成30年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域住民が、講座の参加をきっかけに、ケアプラザを知ってもらい、次につながるきっかけを作る。	5:地域	1:高齢者	地域の園芸店を講師に迎え、12月にガーデニングの講習を行う。		
28	介護者のつとめ	平成17年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護を行っている方に対し、日々の介護疲れやストレスが軽減できるように悩み等を語り合う場を提供するとともに、認知症への対応の仕方や介護情報等を提供することでサポートを行う。	5:地域		参加意欲を持ってもらえるように情報提供・情報交換のためのミニ講座を実施しながら、日々の介護疲れが軽減できるように悩み等を語り合う場を提供する。全10回(8・12月以外毎月)		
29	いきいきライフ講座	平成17年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域でできる限り長く生活が送れるように、必要な知識を持ち、「自分のことは自分で決めること」をテーマとして、地域向けの講座を開催する。	5:地域		「介護予防」の講座3回に加え、「権利擁護」の講座4回を実施する。参加者がより多くの気付きを得られるような権利擁護等についてのシリーズ講座を、保健師・社会福祉士で協力し実施していく。全7回、9～11月予定。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	高齢者虐待防止ネットワーク研修	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待防止、早期発見・適切な対応を目指した関係機関とのネットワークの構築	1:高齢者		区役所・区内地域包括支援センター社会福祉士連絡会と共催で、介護事業所向けに、研修を開催。(年1回)		
31	エンディングノート書き方講座	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エンディングノートの普及・活用	5:地域		エンディングノートの書き方を具体的に学び、実際記入する。		
32	配食サービスお弁当お届け隊	平成27年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	お客様への定期的な見守りと、ボランティアの社会参加の場として行う。	1:高齢者	5:地域	毎月第2・4水曜日に、ボランティアによる手作りのお弁当を、高齢者の自宅まで配達する。 また、ケアプラザの広報紙やちらしなどを配布し、情報提供する 月2回		
33	集いのカフェ	平成28年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	介護予防、認知症予防のための居場所として、脳トレや歌など、様々なプログラムをボランティアが中心となって行う。	5:地域		主なプログラム ・歌 ・ラジオ体操 ・脳トレ ・自己紹介 ・お茶とお菓子をいただく ・ビンゴゲーム ・ミニ講座 月1回		
34	みんなで健康体操	令和元年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	坂の上の地域住民の居場所として、健康増進・認知症予防を目指す。	5:地域	1:高齢者	坂の上にあるレインボー自治会の集会所を借りて、講師を招き、健康体操を行う。 月1回		
35	セカンドライフプランニング講座	令和2年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	50代60代の若い方を対象に、これからの長い人生をどう過ごすかを考え、地域で活動するきっかけづくりの場としたい。	5:地域	7:その他	秋に全2回シリーズで行う。社会参加の意義を考え、参加者との交流を深めながら、新しい活動につなげていく。		
36	ちょこっとボランティア『えがお』ミーティング	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ボランティアが定期的に話し合いの場を持ち、『えがお』が円滑に運営できるように、活動に伴う諸課題などの解決のためのミーティングを行う。	5:地域	1:高齢者	ボランティアの情報交換・情報共有の場 月1回		
37	ウォークラリー	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍で地域での活動が制限されている中、密にならずに活動出来る場となる。	5:地域	1:高齢者 4:子ども・青少年	参加者が自由に地域を歩いて楽しく活動できるウォークラリーを開催する。 6月開催		
38	磯子台自治会健康体操	令和3年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域住民の居場所として、健康増進・認知症予防を目指す。	1:高齢者	5:地域	神奈川県神社庁の場所を借りて、講師を招き健康体操を行う。 月1回		
39	認知症キャラバンメイト連絡会	平成24年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症サポーター養成講座を開催するにあたり、サポーターとしてどのような思いで対応してもらったら良いか、寸劇の内容等を検討してもらい、キャラバンメイト同士の交流の場を持つ。	5:地域		サポーター養成講座の前に、開催される対象に合わせて、寸劇の内容や方法などを検討してもらい、キャラバンメイト同士の交流の場を提供する。		
40	認知症サポーター養成講座	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症になっても地域で安心して生活し続ける事が出来る様に、本人と認知症のご家族を地域で理解し支える認知症サポーターを養成する為の講座を行う。	5:地域		認知症サポーター養成講座のテキストに沿って寸劇を見ていただき意見交換をする中でサポーターとしてどの様に認知症の人や家族を見守って行けるか話し合いの場を持つ。地域の方(年2回)他随時		
41	出張講座	平成21年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の要望に応じて地域出張講座を行う。	5:地域		地域の要望やニーズに応じて、介護保険、地域包括支援センターについて、介護予防や認知症予防、消費者被害などについて、講座を行う。随時		
42	ちょこっとボランティア『えがお』	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	介護保険サービスでは賅えないちょっとしたお手伝いを地域で行う生活支援サービスを立ち上げ、地域での支え合い活動に取り組む。	1:高齢者	5:地域	ボランティアによる生活支援サービス		